

地域医療 連携 だより

「恕」の精神で 「真の安心」を

医療法人徳隣会 つつみクリニック
理事長 堤 光太郎

私たちは2014年に在宅医療に特化した診療所として誕生し、今年で10年目を迎えました。今では東京、山口、福岡、佐賀に6カ所の拠点を設け、170名のスタッフが2500名の患者様のケアに24時間対応しています。

内科、外科、整形外科、泌尿器科、精神科、小児科、皮膚科と様々な分野の専門医が連携し、法人内には訪問看護ステーションやケアプランセンター、医療連携室、臨床検査/放射線部門も擁し、循環型医療・介護を切れ目なく提供する数少ないクリニックです。

また、訪問診療を受けておられない患者様でも、初診での往診を24時間対応しております。

その他、200以上の高齢者福祉施設への訪問診療実績を

活かし、退院後の入居紹介支援サービスを無料で行っております。再度入院が必要となっても、これまで診て下さった医療機関様への橋渡しを責任を持って行い、地域包括ケアシステムにおけるハブとしての役割を全ういたします。

最大の特長は、人間関係に重きを置いた温かい医療環境です。職種の垣根なくスタッフ一人ひとりが支え合い、謙虚に地道な努力を惜しまず、スタッフ全員が輝き、そして「人生意気に感ず」組織を目指しております。コミュニケーションを大切にし、信頼関係を築くことで、安心して治療を受けていただける環境を提供します。

さらに、当法人は人材育成にも注力しています。委員会を特設し、年次計画に基づいて実施される研修を通じて、在宅医療という限られた資源しか使えない場で、従来病院でしかできないと言われてきた医療行為をどうやったら実施できるようになるのか模索し続けています。例えば、在宅での輸血、人工呼吸器管理、抗がん剤投与に始まり、今後は在宅腹膜透析の分野にチャレンジします。

これからも地域医療の発展に貢献し、患者様の健康を守るために尽力してまいります。地域の皆様の健康と幸福のために、私たちと共に歩んでいただければ幸いです。



7年ぶりの病院情報システム更新

医療情報システム管理部長
若田 好史

去る2023年11月19日、2016年秋以来、7年ぶりに当院の電子カルテシステムをはじめ約9割の部門システムを含む病院情報システムの更新を実施いたしました。今回の更新は2021年春以来、更新概要の検討、国立病院機構本部との交渉、業者の選定、システムの開発、導入、切替作業の計画立案など実に約2年半の準備期間を要しました。さらに主体となる電子カルテのパッケージが、従来のものから最新のものに変更されるに伴い、データやこれまでの当院独自仕様の移行に時間がかかり、40時間のシステム停止を経て新しい電子カルテシステムへの更新が実現いたしました。

当院は702床の病床を有し、規模としては地方の大学病院に匹敵する規模があり、更新作業当日は11/18、19の2日間でPC端末1111台、プリンター354台、その他周辺機器を含め、すべての電子機器の入れ替えを実施いたしました。また大学病院ではこれほど多くの部門システムを電子カルテシステムと同時更新することはあまりなく、端末の入れ替え、システム更新作業を目の当たりにして、改めてそのスケールの大きさを実感いたしました。

更新直後は様々なトラブルも発生しましたが、診療現場のスタッフの多大な協力のおかげで、外来診療を止めるような

重大なイベントもなく、運用を実施できております。

また事前作業を含めた更新作業にあたり、診療業務の調整等により救急の受け入れ停止や紹介の調整等、その他様々な点で患者さんや近隣の医療機関の皆様にもご不便をおかけし申し訳ありませんでした。一方、システムパッケージが最新化されたことにより、患者さんやご紹介いただく外部医療機関の皆様の利便性を高める機能が実装されており、こちらも順次、周知、運用を開始して参ります。

今後も紹介医療機関をはじめ地域の医療機関の皆様また患者の皆様へのサービス向上につながるシステム運用を目指してまいりますので、引き続き当院へのご厚情よろしくお願ひ申し上げます。

